

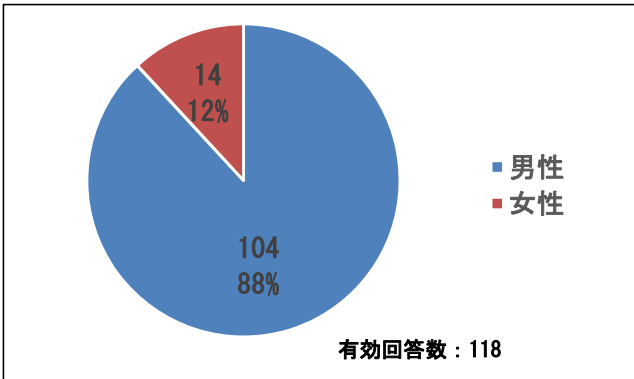
# 事後評価アンケート結果

整理番号 R3 - 1

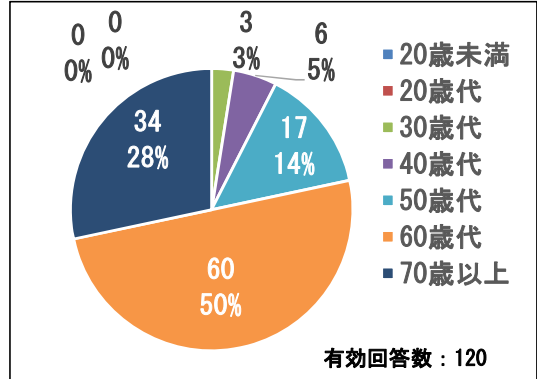
事業名	ため池等整備事業(ため池整備)	箇所名等	手代森(弘前市)
-----	-----------------	------	----------

アンケート対象	手代森堤の農業用水を利用している農地及びその周辺農地の耕作者		
配布方法	手代森堤を管理する弘前北部土地改良区の郵便物に同封し配布	(配布部数)	200 部
回収方法	弘前北部土地改良区への来訪時に回収	(回収部数)	122 部
回収率	61.00%		
アンケート結果			

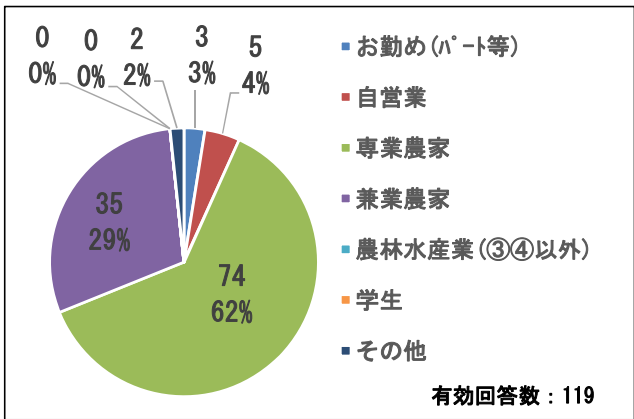
問1【性別】



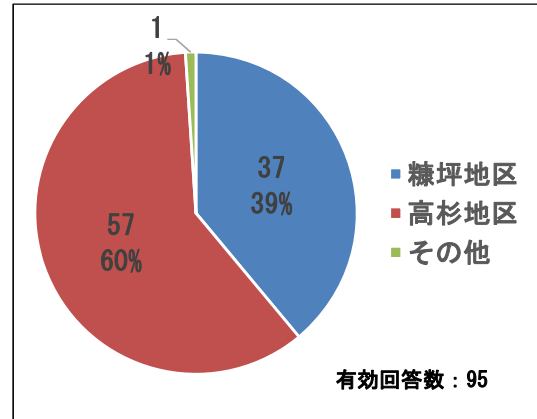
問2【年齢層】



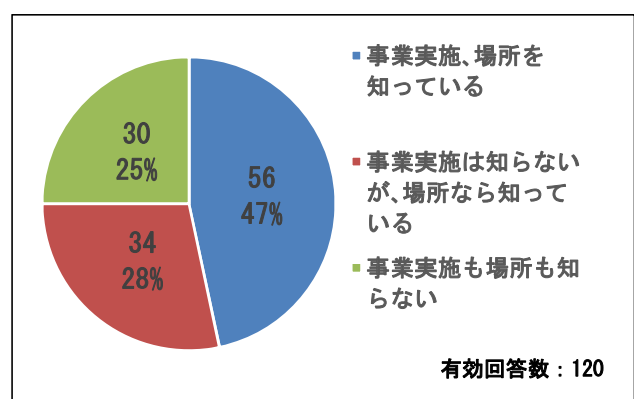
問3【職業】



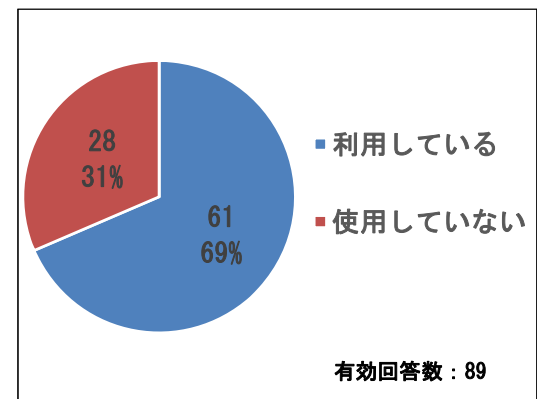
問4【住まい】



問5【認知度】



問6【手代森の利用】



# 事後評価アンケート結果

整理番号 R3 - 1

事業名	ため池等整備事業(ため池整備)	箇所名等	手代森(弘前市)
-----	-----------------	------	----------

**アンケート結果**

**問7【地域にとっての整備の必要性】**

回答	割合
必要だった	50%
概ね必要だった	29%
どちらとも言えない(わからない)	20%
必要でなかった	1%
必要でなかった	0%

有効回答数：93

具体的な意見  
・用水確保のため  
・決壊の可能性があったため

**問8【達成度・防災面】**  
・整備後の状況を見て、ため池決壊に伴う被害の防止など防災面について事業目的が達成されたか

回答	割合
達成された	35%
おおむね達成された	42%
どちらとも言えない(わからない)	23%
あまり達成されていない	0%
達成されていない	0%

有効回答数：92

具体的な意見  
・改修工事で安心感が増した

**問9【達成度・営農面】**  
・整備後の状況を見て、農業用水の安定供給など営農面について事業目的が達成されたか

回答	割合
達成された	36%
おおむね達成された	41%
どちらとも言えない(わからない)	23%
あまり達成されていない	0%
達成されていない	0%

有効回答数：91

具体的な意見  
・用水が確保できない時もある

**問10【管理状況】**  
・手代森堤は弘前北部土地改良区が管理(農業用水の調整、草刈、点検など)しているが、適切に行われているか

回答	割合
適切	44%
おおむね適切	39%
どちらとも言えない(わからない)	16%
あまり適切でない	1%
適切でない	0%

有効回答数：92

具体的な意見  
・草刈りが丁寧になった

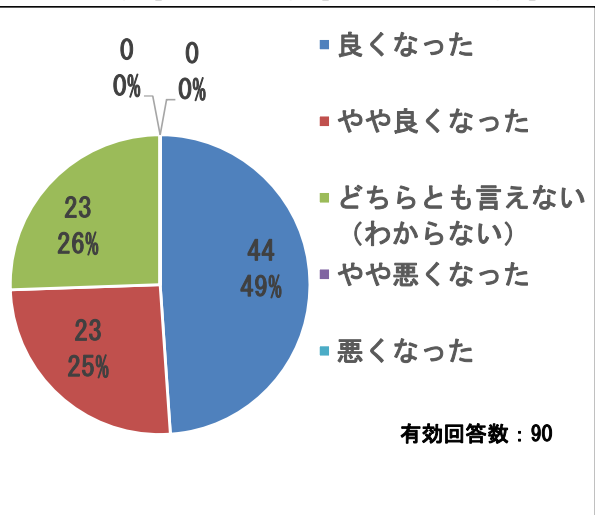
# 事後評価アンケート結果

整理番号	R3 - 1		
事業名	ため池等整備事業(ため池整備)	箇所名等	手代森(弘前市)

## アンケート結果

### 問11【環境変化】

・事業実施により、環境の状況は、事業実施前と比べてどう化したか。  
※「自然環境」の他、「生活環境」「歴史的・文化的環境」も含む

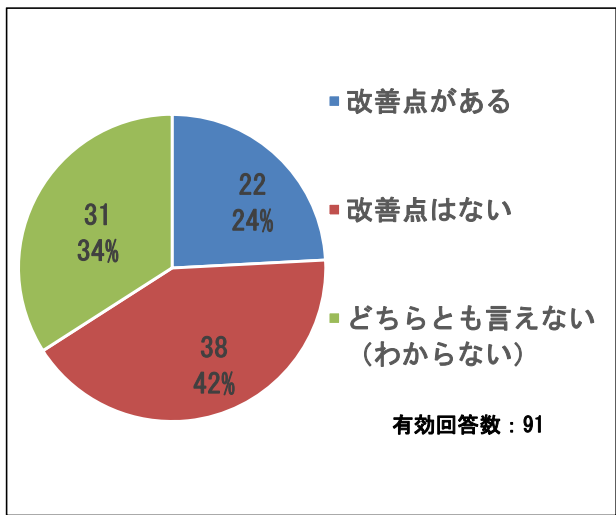


#### 具体的な意見

・きれいになった

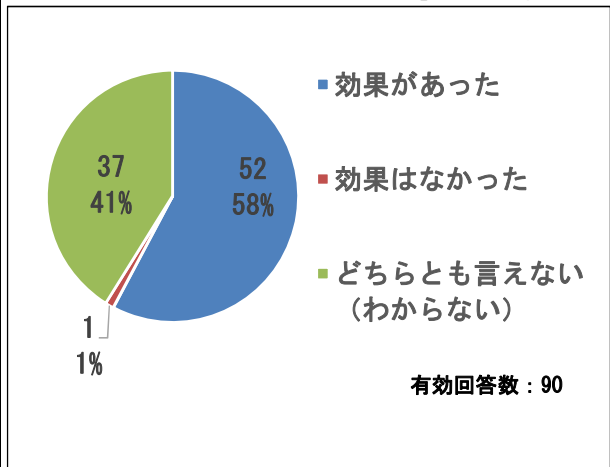
### 問12【改善点】

・堤体、取水施設(洪水吐兼用)及び底樋を改修したが、施設について改善した方がよいと思う点があるか



### 問13【その他効果】

・事業実施により、地域活性化(地域住民との協同による維持管理等)に結びついた等、「事業目的」以外の効果あったか



#### 具体的な意見

・取水量調節がしやすくなり、下流水路での溢水がなくなった  
・釣り人が減った

## 費用対効果分析説明資料

整理番号 R3 - 1

事業名	ため池等整備事業(ため池整備)	箇所名等	手代森(弘前市)
-----	-----------------	------	----------

**【費用対効果の算定内容】**

**1 費用対効果の算定根拠**

本地区の費用対効果は、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」(農林水産省)に基づき算定した。

本マニュアルは、当該事業及び関連事業の事業費並びに当該事業により整備される施設の未減価償却資産額(総費用 C)と、各種期待される効果(土地改良事業を行うにあたり、本事業を実施した場合と実施しなかった場合の便益と費用の差)(総便益 B)により評価する。

**2 算定の前提条件**

- (1) 評価基準年度: 令和3年度
- (2) 評価期間: 42年(事業期間2年+40年)
- (3) 費用及び便益の現在価値: 投資額、評価期間内に発生する年間便益を、現在価値化(社会的割引率4%)している。

**【前回評価時からの増減内容】**

区分	主な項目	前回評価時 (H26年)	事後評価時 (R3年)	増減額	増減理由
費用項目 (C)	算定基準年	H26年	R3年		
	(1) 当該事業による費用	266 百万円	164 百万円	▲ 102 百万円	総事業費が減額となったため。
	(2) その他費用	4 百万円	5 百万円	1 百万円	現在価値化の基準年を変更したため。
	(3)	百万円	百万円	0 百万円	
	(4)	百万円	百万円	0 百万円	
	(5)	百万円	百万円	0 百万円	
	総費用(C)	270 百万円	169 百万円	▲ 101 百万円	
便益項目 (B)	算定基準年	H26年	R3年		
	(1) 作物生産効果	122 百万円	160 百万円	38 百万円	作物単価、単収の見直し及び算定基準年を変更したため。
	(2) 維持管理費節減効果	▲ 15 百万円	▲ 29 百万円	▲ 14 百万円	労務単価の見直し及び算定基準年を変更したため。
	(3) 災害防止効果	297 百万円	554 百万円	257 百万円	復旧単価の見直し及び算定基準年を変更したため。
	(4)	百万円	百万円	0 百万円	
	(5)	百万円	百万円	0 百万円	
	総便益(B)	404 百万円	685 百万円	281 百万円	
費用便益比(B/C)	1.49	4.04			

**【費用対効果分析の結果】**

費用便益比は当初の1.49に対し、今回算定の結果4.04となり、効果が発揮されている。

なお、4.04に増加した要因は、詳細な地質調査の結果、ため池堤体の改良範囲が、全面改良から一部改良(上流法面)に変更となり事業費が減額となったことによる。

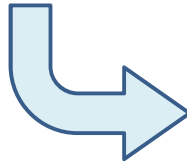
(別紙)

# 事後評価箇所状況写真

整理番号 R3 -

事業名	ため池等整備事業(ため池整備)	箇所名等	手代森(弘前市)
-----	-----------------	------	----------

## 堤体



## 洪水吐及び取水施設

